

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	岐阜大学	整理番号	1-3-022
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	能動・思考促進型を柱とする全人的医学教育		
申請単位	学部単位		
申請担当者	高橋 優三		
(取組の概要)			
<p>岐阜大学医学部は、「地域に優しく生き、世界に羽ばたく」を標語に、今日の科学技術の進歩と社会の要請に合った医学教育方法を実践している。</p> <p>同学部の教育方法の骨子は次の3点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受動型・知識詰め込み型から「能動・思考促進型教育」へ、 2) 疾患中心の医学教育から患者中心の「全人的医学教育」へ、 3) 大学中心の教育から地域全体で取り組む「地域立脚型教育」。 <p>具体的には次の5項目を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①テュートリアル教育：少人数、問題解決型能動学習 ②診療参加型臨床実習：臨床実習資格判定試験に合格した学生が医療チームの一員として附属病院と地域基幹病院で実習 ③模擬患者参加型医療面接実習：コミュニケーション技能と患者心情の理解 ④地域基幹病院での学外臨床実習と卒後研修：優れた医療情報システムの活用による附属病院と地域病院が連携した卒前及び卒後臨床研修プログラム ⑤IT技術の活用：バーチャル患者ロボット、インターネットテュートリアル 			
(採択理由)			
<p>この取組は、岐阜大学医学部の教育目標である「地域医療と医科学の発展に寄与できる人材の育成」を実現するため、岐阜大学医学部教授会の審議を経て、すでに8年にわたって組織的に実施されてきている取組です。実施にあたっては、関係者の努力により、能動的に思考しながら自学自習する教育環境の醸成などに大きな成果を上げています。平成13年に設置された医学教育開発研究センターと連携した他大学の教育改革への貢献なども優れた特色であり、他の大学の参考になる事例です。</p>			